

私がリコール反対運動をする理由

高橋良平

「表現の不自由展・その後」をつなげる愛知の会

『反日』作品だからその作品を出展した展覧会への
公金支出は認められない。そしてそれを認めた知事は
辞職するべきだ」

改めて「表現の不自由展・その後」を理由とした
リコール活動を文章にすると、こんな理屈になる。
正直怖いと思った。ここには対話の余地も他者に開
かれた問題の提起もなく、あるのは YES か NO か
の二者択一。否、一者唯一。なぜなら、リコール推
進派にとって、彼らの論理を否定する人たちはすべて
「反日」になる。それゆえこのリコール活動の本
質は成立、不成立にはなく、憎悪と恐怖を増幅させ
るところにある。本当に恐ろしい。

思い起こすと、今年の「表現の不自由展・その後」
への脅迫、抗議、そして圧力も同じだった。おもに
インターネットによる顔の見えない抗議と脅迫、圧
力、誹謗中傷、それに保守系政治家たちによる憤慨、
街頭や会場である愛知芸術文化センター近辺ではそ
れほどの緊張は感じられなかったが、それでもこれ
からどうなってしまうのだろうか？世論や民意はど
うなるのだろうか？と、とても懸念した。

しかし少し考えると、強迫や抗議の際に繰り返し
用いられている「反日」という概念自体、そもそも
定義すらないあまりにも主観的な概念だ。そんな概
念を芸術作品に乱暴に当てはめ、しかもそれをもっ
て公的な芸術祭に出展するべきではない、という論
理は作家の創造性への暴力的否定であると同時に、
市民の鑑賞する権利の否定でもある。そこに作品を
観たい人たち、そして作品を肯定的に評価する人た
ちの存在する余地はない。それは、作品の自由な解
釈、各人の解釈を否定しているという意味で、一人
一人の思想信条の自由の否定、基本的人権の否定に
つながる危険性を有している。

基本的人権の否定といえば、そもそも「表現の不
自由展・その後」自体を「作業員や活動家による反
日工作」等と誹謗中傷し、中止に抗議し再開をもと
める声にも「反日」と罵声を浴びせ、発言者を韓国・
朝鮮籍であると断定した上で「祖国に帰れ」と誹謗
中傷する、まさに差別発言が横行し、現在も継続し
ていることは重大である。

そしてこれらの差別発言に特徴的なのは、朝鮮半

島と朝鮮半島出身者に対する攻撃性である。私はこ
の背景には近代日本による朝鮮半島と朝鮮民族に対
する侵略と抑圧の事実に対する、私たち日本人の主
体的な謝罪の欠如と事実の隠蔽・忘却があると考え
る。そしてこのことに向き合わないかぎり、「反日」
発言の根本を断つことは難しいし、さらに言えば日
本人は歴史的に朝鮮民族との関係においては抑圧民
族のままである。この抑圧民族の本質が剥き出しに
現れているのが一連の事態の本質だと思う。「反日」
という言葉は日本人にも向けられているが、その本
質は、おもに朝鮮半島出身者に対する抑圧民族日本
人による抑圧・差別である。

私は一人の人間として、朝鮮民族、とりわけ在日
朝鮮人の方々に申し訳ないと思う。そして一人の日
本人としてその抑圧を早急に解体しなければならな
いと考えてるし、それは当然のことだと思っている。
なので実は自然体で活動しています。みなさまもぜ
ひ！



9.6 止めよう！「表現の不自由展・その後」を理由と
した大村知事リコール 市民集会・デモ

これからの活動

- ①リコール反対のチラシを地域でまきましよう！
50 枚以上からチラシをご自宅まで郵送します。
枚数とお届け先を下記までお知らせください。
電話 080-2048-3968
メール resumetheexhibition@gmail.com
- ②リコール反対署名を集めよう！
第三次集約を 10 月 16 日にしました。
周りの方にぜひおすすめください。
署名はインターネットでもできます。
署名用紙が必要な方は↑の連絡先まで
署名用紙の郵送先は署名用紙をご確認ください。
- ③街頭宣伝・集会に参加しよう！
街宣：10/10(土)、午後1時から栄三越前
集会：10/18(日)午後1時から 栄噴水北